

公益社団法人京都モデルフォレスト協会 令和6年度事業計画

<重点方針>

モデルフォレスト運動の拡大・発展を目指して、

- ① モデルフォレスト運動の連携・ネットワークの拡大を推進します。
- ② 次代を担う子どもたちの森づくり体験・学習活動を進めます。
- ③ 緑の募金活動等を通して森林をはじめとする緑の大切さの啓発に努めます。

1 モデルフォレスト運動の連携強化と拡大

「モデルフォレスト運動」の様々な活動や事業により築かれてきた多くの「人と人のつながり」、「地域、企業・団体のつながり」を、さらに「強め」、「活かし」、「広げる」ことにより、モデルフォレスト運動の発展を目指します。

- 京都の豊かな森林と、森を守るモデルフォレスト運動への理解、参画を広げるため、現地体験ツアーの実施など内容も充実させ、モデルフォレスト府民公開講座を開催します。(強化)
- 林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策」事業や京都府の「ふるさとの里山林保全活動推進事業」、企業・団体等の寄付を活用して地域が一体となった持続的な森林整備活動を支援します。(継続)
- 企業・団体等の森林づくり活動の向上と、連携・ネットワークを拡大するため、森林づくりを通じた環境貢献活動の実施や、企画・運営をテーマにした公開セミナーを開催するとともに、間伐や放置竹林の整備などに取り組む森林ボランティアを養成するため講座や体験会を開催します。(強化)
- 協会情報誌「以森伝心」や協会ホームページ、メールマガジン等を通じ、森林づくり活動等の情報を積極的に発信し、モデルフォレスト運動への府民参加のすそ野の拡大に努めます。(継続)

2 次代を担う子どもたちの森づくり体験・学習の推進

子どもたちが森林や自然環境にふれあい、体験できる機会が少なくなっている中で、森や緑を守り育てることの大切さを学ぶ体験・学習を推進します。

- 子どもたちの森づくり体験・学習を推進するため、企業等の協力により、森づくり体験や学習の支援を実施します。また、子どもたちの体験学習の機会を増やすため、出前講座を充実します。(強化)
- 緑の少年団の活動を支援し、森林や緑を大切にすることを育むとともに、交流会の開催や指導者への支援等、新たな団の結成に向けた取組を進めます。(継続)
- 毎年開催の緑化運動ポスターコンクール等を通じ、緑の大切さを啓発します。(継続)

3 緑の募金活動等を通じた啓発の推進

関係団体や協会会員の協力を得て、緑の募金や森林づくりへの寄付等を拡大する取組を強化し、森林整備、地域緑化、環境教育、森林ボランティア活動等への支援を充実します。

1 モデルフォレスト運動の連携強化と拡大

(1) 府民参加のすそ野の拡大と啓発活動

モデルフォレスト運動に参画する企業、団体、地域、会員等が、運動推進のためのセミナーの開催を通じ、情報交換や交流に取り組み、人や情報のネットワークの構築や活動の強化と拡大を推進します。

モデルフォレスト府民講座の開催

モデルフォレスト運動への理解と参画を広げるため、旅行業法に基づく地域限定旅行業者としての企画旅行の主催などを含め幅広く府民が参加できる公開講座を開催します。また、ネットワークをより強固なものにするため、森林ボランティア養成講座などをより実践的な内容での講座を開催します。

(2) 府民による身近な森林づくり活動への支援

林野庁「森林・山村多面的機能発揮対策」事業

林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策」事業の交付金の管理、活動組織の支援を行う「地域協議会」として、地域の活動団体による里山林等の森林の保全管理の取組を支援し、モデルフォレスト運動の更なる拡大を図ります。

京都府「ふるさとの里山林保全活動推進事業」

京都府豊かな森を育てる府民税を活用した「ふるさとの里山林保全活動推進事業」を通じ、荒廃した里山林の整備を進め、府民の森林整備活動に対する関心を高め、地域での取組のさらなる拡大に努めます。

森林づくり基金による地域の森林づくりの取組支援

モデルフォレスト運動に参画、賛同する企業等からの寄付金により地域の森林づくり活動を支援し、地域の森林づくりの取組を広く PR し、取組の輪を一層広げます。

(3) 企業・団体による森林づくりと交流の推進

企業等による森林づくり活動の誘致

環境貢献の取組に積極的な企業や創立記念を控えた企業などに、京都モデルフォレスト運動の趣旨や取組を積極的に情報発信し、モデルフォレスト運動への参画を誘致します。

森林づくりと環境貢献などをテーマに企業等の交流を推進するセミナー

森林づくりを通じた環境貢献への関心を広め、企業・団体のモデルフォレスト運動への参画を促進するため、木質資源の活用、生物多様性の保全、環境学習、健康づくりなど、多様な活動の情報提供や、活動の成果を CO2 吸収量認証や環境共生サイトなどにより、見える化する取組を学べる公開セミナーを開催します。

企業の森「オープンフォレスト」など、活動開始を支援する取組

企業・団体による活動が活発化している中、森林づくり活動への参加を検討している企業・団を対象に、先進的な取組を実践する企業と交流する「企業の森林オープンフォレスト」の開催や、企業の目指す目的に沿った活動を提案するなど、森林づくり活動の取組開始を支援します。

(4) 森林ボランティアの養成、支援

森林整備体験教室等の開催

京都府や市町村、ボランティア団体等の取組との連携を図りながら、間伐等の森林整備体験教室や体験ツアー等を開催することにより、府民の森林の果たす様々な役割についての理解を高めるとともに森林づくり活動への参加の促進を図ります。

森の人材バンクの活用

森林インストラクターなどの有資格者を登録する森の人材バンクを活用し、森林ボランティア団体や学校、企業等の希望に応じて指導者を紹介します。

企業、学校、団体等の要望に応じて、森林づくりへの理解を深めるための環境学習講座等を実施します。

(5) 普及啓発や情報発信

イベント等を通じたモデルフォレスト運動のPR

公開講座やツアーなどの開催に加え、会員企業・団体における様々なイベントやセミナー、交流会などに積極的に参加し、京都のモデルフォレスト運動を幅広くPRします。

紙面、インターネット等による情報発信

協会ホームページや協会広報誌「以森伝心」、フェイスブック、メールニュース等を活用し、協会や森林づくり団体等が行う森林づくり活動等についてのタイムリーな情報発信を行い、モデルフォレスト運動への府民参加のすそ野の拡大を図ります。

森林吸収量認証制度を活用した普及啓発

森林吸収量の認証機関として、企業等の森林整備活動や森林づくりへの寄付等による取組を森林吸収量認証等により評価・PRし、企業やNPOの参加を促進します。

国際的なネットワークを活用した取組の展開

英文ニュースを発行し、国際モデルフォレストネットワーク(IMFN)の一員として、京都の取組を世界に向けて情報発信します。

(6) 公的森林等の管理支援

洛西散策の森の管理支援

府民の森とのふれあいの場所である「洛西散策の森」(京都市西京区)の巡視業務を京都府から受託し、府民に開かれた森林環境の整備に努めます。

2 次代を担う子どもたちの森づくり体験・学習の推進

森林環境学習等を通じた次代を担う子どもたちの育成

子どもたちが森林や自然環境にふれあい、体験できる機会が少なくなっている中で、森や緑を守り育てることの大切さを学ぶ活動を推進します。

子どもたちへの森林環境学習の提供（出前授業・オンライン講座）

幼・保・小中学校などに出向き、森林の果たす役割や森の大切さをわかりやすく伝える出前授業やオンライン講座について、企業からの寄付により記念植樹や学習資材の提供など取組を充実させて、子どもたちがより一層楽しく学ぶことができる取組を推進します。

企業等からの寄付による「こども森づくり体験・学習」

企業等からの寄付により「こども森づくり体験・学習」を推進し、間伐などの森林づくり活動の見学・体験や、森林インストラクターによる森林教室など、子どもたちの森林や環境への理解を深める活動を推進します。

緑の少年団の活動を支援

府内各地で森林や緑を守り育てる活動に取り組んでいる緑の少年団の活動を支援し、次代の森づくりや緑化を担う子どもたちの育成に努めます。

「京都山キッズ交流集会」を10月に府立丹波自然運動公園で開催し、多彩な学習と体験プログラムで、少年団の交流を図ります。

ポスターコンクールを通じた自然を大切にする心の育成

緑化運動ポスターコンクールの募集等を通して、学校等での「緑化」を介した子どもたちの交流の機会をつくり、自然を敬う心を養います。

3 緑の募金活動等を通じた啓発の推進

募金活動を通じて森林をはじめとする緑の重要性等を啓発するとともに、緑豊かな森づくりや森林とふれあう取組への支援等を進めます。

(1) 緑の募金活動

- 各種行事等での募金や、モデルフォレスト運動参画企業や地方公共団体との連携を強め、募金活動を進めるとともに、協力いただいた募金の活用内容をホームページや印刷物等で積極的にPRすることにより募金額の拡大を図ります。
- イベントへの出展や関係団体と連携した街頭啓発活動で、普及啓発に努めます。

	募金強化期間	令和6年度募金目標額	令和5年度実績
春期	3月1日から5月31日	16,000千円	13,972千円
秋期	9月1日から10月31日		

(2) 緑の募金による事業

緑化推進

ア 学校・地域緑化・森林環境学習推進

次代を担う児童・生徒や地域住民等の森林や緑の大切さへの理解につなげるため、学校緑化、まちなかなど地域の緑化を助成、推進します。

イ 緑の少年団等の育成（再掲）

緑の少年団活動を支援するため、緑の少年団が行う学習活動・野外活動・奉仕活動を助成、推進します。

「京都山キッズ交流集会」を10月に府立丹波自然運動公園で開催し、多彩な学習と体験プログラムで、少年団の交流を図ります。

地域での取組支援

地域の募金協力団体が、各地域で森林整備や植樹等を通じて緑化思想の普及啓発を図るための経費として、募金実績から交付金を支出するとともに、特色ある取組が各地で実施できるよう募金協力団体間での情報交換や交流を進めます。

森林整備

ボーイスカウトやガールスカウトが行う森林愛護運動に係る資材等の購入、森林整備活動・研修などの取組を推進します。

ポスターコンクールを通じた自然を大切にする心の育成（再掲）

緑化運動ポスターコンクールの募集等を通して、学校等での「緑化」を介した子どもたちの交流の機会をつくり、自然を敬う心を養います。